

## 大和インベスター・リレーションズ 個人投資家会社説明会（2024年3月2日開催）

### 質疑応答内容

<説明者>

執行役員 IR、サステナビリティ推進担当本部長 遠藤 友美絵

Q: 水産事業に力をいれるのはなぜか。

A: 当社はトップクラスのマグロの調達力を持つ川上のトライ産業を子会社化、また川下では約 4,000 社の顧客基盤を持つ水産加工会社であるマリフーズを子会社化した。マリフーズは大手の回転すしチェーンやスーパーマーケットに加工されたマグロ、サーモン等を卸しており、加工技術に非常に長けている。昨今国内における食材の傾向としては肉が中心となり、魚の消費量が減っていることは事実だが、非常に強い顧客基盤を持つ両社を買収する事で、健康志向の中で魚を食す国内の皆様へ安全な食材をお届けしたい。また、海外では健康志向により水産加工品のニーズは増えている事から、今後の海外展開も考えており、水産事業の強化に取り組んでいる。

Q: アジア圏において成長の著しいインド、インドネシアで更なる積極的な事業参入について伺いたい。

A: インドは当社も注目しているエリアで、人口 14 億人を抱え小売市場では 2025 年には世界第 3 位になる事が見込まれており、今後も期待できる市場。人口が多い為、小売事業は流通構造が複雑で非効率になっている事が課題の一つであり、双日は流通の効率化に取り組むスタートアップ企業 RIPPLR 社に出資した。RIPPLR 社が開発したプラットフォームでは、受注管理、配送管理、販売実績管理、在庫管理をデータ化し管理する事でリアルタイムでメーカーとの販売情報共有が可能となる。

中期経営計画 2026 においても、点から線、面へと展開し、インドの成長を取り込み、当社も一緒に成長していきたい。

インドネシアでは現在メタノール事業等を展開しているが、今後は新しいエネルギー関連事業に取り組んでいきたいと考えている。

Q: 米国投資家のウォーレン・バフェット氏は双日にも投資しているか。

A: 残念ながら当社には投資して頂いていないが、バフェット氏から投資頂いていない分、株価にプレミアムがまだ付いていないと考えている。また、バフェット氏が総合商社に投資したことで、特に海外の機関投資家から注目を頂いており、当社に対する問い合わせや、対話したいという要望も大幅に増えている。この機運を大事にすると共に、当社の成長を応援して頂ける株主を国内外に作ってきたい。

以上